

# 四日市市北大谷斎場火葬炉等更新工事（1期）

## 審査講評

令和 8 年 3 月

四日市市

## 目次

1	受注候補者の選定方法	1
2	審査の方法	1
3	評価体制	1
4	審査の経緯	1
5	審査の結果	2
	(1) 資格審査	2
	(2) 提案審査	2
6	審査講評	5
	(1) 個別講評	5
	(2) 総括	6

## 1 受注候補者の選定方法

受注候補者の選定に当たっては、価格と事業提案を総合的に審査・選定する公募型プロポーザル方式とした。

入札公告時に公表した受注候補者選定基準に従って資格審査、事業提案書、見積価格の評価を行い、受注候補者を選定することとした。

## 2 審査の方法

審査は、受注候補者選定基準に従って、会社概要及び施工実績を審査する「資格審査」と価格を含めた提案内容を評価する「提案審査」の二段階にて実施した。

「提案審査」は、提出を求めた書類全てに必要な事項が記載されているとともにその内容に疑義がないかの確認及び見積書に記載された金額が実施要領に記載の範囲内にあるかの確認を行う「基礎審査」と様々な視点から「事業提案書の評価」を行った。

## 3 評価体制

事業提案書の評価は、四日市市（以下「市」という。）が設置した四日市市北大谷斎場火葬炉等更新工事（1期）事業者選定プロポーザル審査委員会（以下「選定委員会」という。）において行った。選定委員会の委員は下表の通りである。

（敬称略、五十音順）

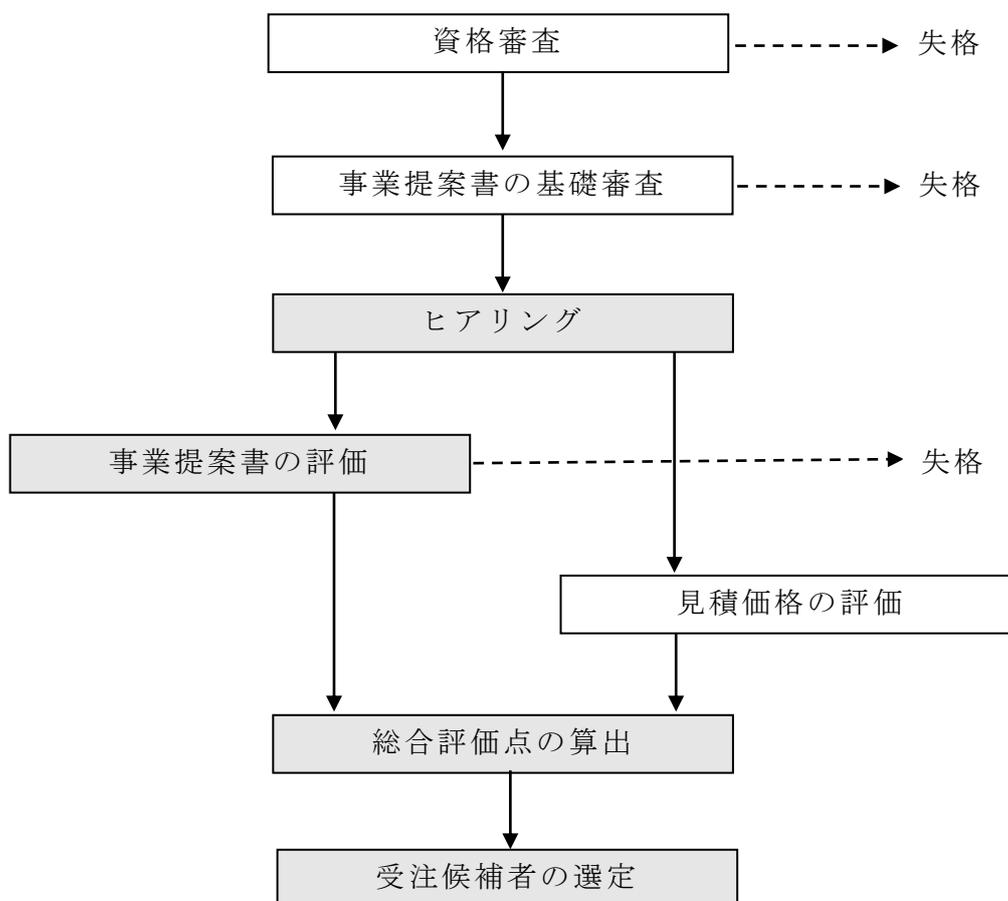
区 分	氏 名	所属（役職・肩書）
外部委員 （学識経験者等）	岡島 賢治	三重大学 生物資源学研究科 教授
	先浦 宏紀	株式会社三十三総研 総務部長兼調査部主席研究員
	小粥 吉美	小粥建築設計室 一級建築士
内部委員 （市職員）	山田 晃生	健康福祉部衛生指導課長
	大澤 勝司	都市整備部営繕工務課副参事兼課長補佐
	秦 英博	環境部次長

## 4 審査の経緯

受注候補者決定までに至る選定委員会の審査経緯は以下のとおりである。

日 程	内 容
令和7年11月4日	第1回選定委員会
令和7年11月11日	入札公告
令和7年11月21日	実施要領、要求水準書等に関する質問書の回答
令和8年1月7日	事業提案書の受付
令和8年1月30日	第2回選定委員会
令和8年2月17日	第3回選定委員会（受注候補者の選定）

### 【受注候補者決定までの流れ】



※ □ は選定委員会が主に行う。

## 5 審査の結果

### (1) 資格審査

令和7年11月27日までに参加表明書、会社概要及び施工実績の受付を行ったところ、株式会社宮本工業所から参加表明があり、資格審査を行った。資格審査の結果、実施要領に定める参加資格要件を満たしていることを確認した。

### (2) 提案審査

令和8年1月7日までに資格審査を通過した株式会社宮本工業所（以下、「入札参加者」という。）から事業提案書及び見積書の提出を受け、以下の基礎審査及び総合評価を行った。

#### ① 基礎審査

入札参加者の事業提案書が、落札者決定基準に定める基礎審査項目（提出書類の確認、見積価格の確認、基礎的事項の確認）を満たしているか審査を行った。その結果、入札参加者の提案内容が基礎審査項目を充足していることを確認した。

② 事業提案書の評価

(ア) ヒアリング

第3回審査委員会において、提案内容について入札参加者へヒアリングを行った。

(イ) 提案内容評価

入札参加者へのヒアリングを踏まえた上で、落札者決定基準に定める評価項目及び評価内容に従って、評価会議の各委員が提案内容の審査項目ごとに採点した。評価点の算出方法は、各委員が評価項目毎にA～Dの4段階の採点基準で評価したものの平均値を評価点とした（80点満点）

評価	評価内容	採点基準
A	要求水準を超える優れた提案があり、具体性や実現性がある。	配点×1.00
B	要求水準を超える提案があり、具体性や実現性がある。	配点×0.75
C	要求水準を満たす程度の提案があり、具体性や実現性がある。	配点×0.50
D	要求水準を満たす程度の提案はあるが、具体性や実現性が十分でない。	配点×0.25

入札参加者からの提案に対する提案内容評価の結果は下表のとおり。

審査項目	配点	株宮本工業所
<b>1. 事業計画について</b>	<b>5</b>	<b>3.84</b>
事業実施の基本方針について	2	1.17
事業実施体制について	1	0.96
役割分担及び工事管理について	1	0.96
想定されるリスクへの対応について	1	0.75
<b>2. 火葬炉等更新工事仕様書について</b>	<b>20</b>	<b>13.88</b>
火葬炉設備仕様書について	15	11.25
受変電設備仕様書について	3	1.63
霊安室改修仕様書について	2	1.00
<b>3. 工事に係る注意事項について</b>	<b>15</b>	<b>9.99</b>
火葬炉設備本体の切替えに係る工事手順について	3	2.00
工事期間中の施設の稼働に対する配慮について	4	2.83
都市ガス配管の更新工事について	2	1.33
受変電設備の改修工事について	4	2.83
霊安室の改修工事について	2	1.00

4. 維持管理費について	10	5.00
年間の維持管理費について	10	5.00
5. 省力化、省エネ化及びコスト縮減に対する取り組みについて	10	7.50
ランニングコスト縮減の取り組みと効果について	10	7.50
6. 環境保全に関する取り組みと考え方について	10	7.00
燃焼状況及び排気ガスのモニタリングについて	2	1.75
排気ガス対策について	4	3.00
悪臭対策について	2	1.25
騒音及び振動対策について	2	1.00
7. アフターサービスの考え方と体制について	5	4.25
通常の保守・点検の項目とアフターサービス体制について	2	1.50
緊急時における災害時の対応及び技術者の派遣体制について	1	0.92
緊急時における北大谷斎場までの所要時間について	2	1.83
8. 自然災害等に対する安全性の確保及び非常時の対策について	5	3.42
通常時における火葬炉設備の安全対策の考え方について	1	0.71
火葬炉設備における耐震対策について	1	0.50
火葬中の緊急時の対策について	1	0.71
災害等の非常時における対策について	1	0.75
災害時の事業継続について	1	0.75
合 計	80	54.88

(ウ) 見積価格の確認

市において、見積書に記載された見積価格が上限の範囲内にあることを確認した。

区分	株式会社宮本工業所
見積価格	726,000,000 円
見積価格/提案価格上限	0.9986

※見積価格及び提案価格上限は、消費税及び地方消費税を除く。

提案価格の上限 727,000,000 円

見積価格/提案価格上限の割合の端数は小数点以下第5位を四捨五入。

(エ) 価格評価

受注候補者選定基準に定める計算式に従い、入札参加者の見積価格を20点満点で得点化した。評価の結果は下表のとおりである。

評価項目	配点	株式会社宮本工業所
価格評価点	20	20.00

### (オ) 受注候補者の選定

価格評価点（20点満点）と提案内容評価点（80点満点）を合計して総合評価点を算出し、提案内容評価点の合計が配点合計の50%を満たしたことから株式会社宮本工業所を受注候補者として選定した。

	株式会社宮本工業所
価格評価点（20点満点）	20.00
提案内容評価点（80点満点）	54.88
総合評価点（100点満点）	74.88

## 6 審査講評

### (1) 個別講評

- ・提案内容全般において、これまでの技術開発や工事实績を踏まえた適切かつ具体的な事業計画が提案されている。
- ・人員、技術者を十分に確保するとともに、火葬炉更新以外の霊安室改修や受変電設備更新等の施工業者については他の斎場でも実績のある市内事業者を選定するなど地域経済へも配慮している。
- ・施設の稼働に配慮した工事工程であるとともに、現場を熟知した設備、仕様となっており、排ガス処理設備や予防保全システムで要求水準書を上回る提案となっている。
- ・提案者が有する特許技術や独自技術を取り入れた省力化・省エネ化及びコスト縮減に対する様々な提案が盛り込まれている。
- ・システムを用いた優れた定期点検及び保守体制が提案されているとともに、緊急時のサポート体制及び技術者の派遣についても具体的に提案されている。

### (2) 総括

参加した株式会社宮本工業所の技術提案は、施設の構造を熟知した上で、随所に創意工夫がみられ、総じて本市が要求する水準を上回る提案内容を含むものであった。

今後、株式会社宮本工業所が市と工事契約を締結し、本事業を実施する際には、提案内容を確実に履行することはもとより、次の点にも十分に配慮するよう要望する。

- ・提案された工程が履行されるように工程管理に努めること。
- ・施設を稼働しながらの工事となるため、工事中の安全確保や施設運営に配慮するとともに、工事手順について十分に市及び施設管理者と協議しながら工事を進めること。
- ・工事終了後の保守点検について適切な修繕計画を提案するとともに、引き続き提案された保守管理体制を維持すること。

株式会社宮本工業所から提出された提案は、本事業の趣旨を十分理解した素晴らしい内容であった。この提案をまとめた株式会社宮本工業所の熱意に敬意を表する。